

令和5年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画（事業報告）

中長期計画（実施計画）について

1 在宅を中心とした安心して住める環境づくり			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	事業報告	事業報告	事業報告
1-1 社会保障制度の流れと地域の特性、ニーズに対応したシステムの整備・推進	①情報の収集・調査分析	a.国・県・市町村・日本医師会等情報の収集と調査・分析	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <p>1. 収集した情報について医師会として共有し、対応（方針）について検討する</p> <p>【重点事項】</p> <p>①診療報酬改定・介護報酬改定（令和6年度～）</p> <p>②第8次島根県保健医療計画（令和6年度～）（5疾病・6事業）</p> <p>③第3次健康増進計画（健康長寿しまね）（令和6年度～）</p> <p>④第9期益田市介護保険事業計画（えっとまめなプラン）（令和6年度～）</p> <p>⑤医師の働き方改革への対応（令和6年度～）</p> <p>⑥地域医療構想への更なる検討（～令和7年）</p> <p>【統括部】</p> <p>1.診療報酬の改定情報を注視し、早期に対策を検討する</p>	<p>1.令和6年度 医療・介護 W 改定（診療報酬・介護報酬同時改定）に向け、各地での研修会等への参加、および職員向けに勉強会を開催</p> <p>2.令和6年度 第8次医療計画に向け保健所のヒアリング対応、情報収集を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療構想及び医師確保</li> <li>・外来機能報告</li> <li>・在宅医療及び医療・介護連携</li> <li>・救急・災害医療提供体制</li> <li>・5疾病+新興感染症 等</li> </ul> <p>3.令和6年度 第9期益田市介護保険事業計画（えっとまめなプラン）</p> <p>4.医師の働き方改革への対応（R6.4月から）への準備は終了</p> <p>5.第4期医療費適正化計画（案）（R7～R12年度）の情報収集を行う</p> <p>6.R7年度以降「新たな地域医療構想」の検討のため情報収集を実施</p> <p>7.医療法人の経営情報データベース化の情報収集を行う</p>	<p>1.第8期益田市介護保険事業計画（えっとまめなプラン）の内容の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きがい活動の推進、外出支援等、「地域に貢献する活動」の実現のための検討</li> </ul> <p>感染予防対策が解除できず、ボランティアの受け入れや外出支援の検討に至らなかった。</p> <p>2.令和6年度介護報酬改定情報を収集した。基本療養費はプラス改定（入所：約4%アップ、短期入所：約3%アップ、通リハ：0.7%アップ）を次年度予算に反映させた。また、各種加算の算定の可否について検討を実施した。</p>
	②少子高齢化社会に対応した医師会独自の地域医療・介護の体制づくり	a.地域のニーズの把握	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <p>1.社会構造の変化に伴う地域のニーズについて、圏域内の諸会議を通じて把握・共有する</p> <p>会員医師の高齢化にともなう地域医療への影響調査と対応策等を含め将来ビジョンの策定に着手し、研究・検討を進めている。</p> <p>【統括部】</p> <p>1.統括部の各事業所から現場意見を集約し、ニーズを把握する</p> <p>①統括部各部署の朝礼にて情報提供し、意見の集約を行っている。</p> <p>2.地域の関連事業所、地域住民のニーズを収集する</p> <p>①市内居宅介護支援事業所（8か所）の訪問しニーズ調査を行い、多職種研修会につなげた。</p> <p>3.要介護認定者、生活困窮者が増加する半面、居宅介護支援者、サービス提供事業所の減少の中で支える仕組みの検討</p> <p>①益田市が進める重層的支援体制整備事業に協力している。</p>	<p>※国が考える2040年問題に対し、島根県及び益田市ではすでに現実となっており、以下の課題・問題が散見される。</p> <p>益田地域医療・介護ビジョン委員会・プロジェクトチーム等にて情報収集・検討を重ねる</p> <p>1.生産年齢人口の減少に対するマンパワー確保</p> <p>2.人口減少地域における医療機能の維持・確保や医師をはじめとした働き方改革への対応</p> <p>3.超高齢化・人口減少による入院・外来医療ニーズの変化</p> <p>4.医療介護複合ニーズ・看取りニーズの増加</p> <p>5.緩和ケア体制の構築</p> <p>6.在宅療養後方支援病院の継続</p> <p>7.訪問診療体制の検討・構築</p> <p>8.へき地巡回診療継続、診療支援体制の検討</p> <p>9.益田圏域での医療・介護の在り方の検討</p>	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
		b.先進事例等の調査と検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.先進事例等を調査し、地域の医療介護に資する新たな取組を導入する		
		c.会員との連携	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会員と連携し、医師会資源を有効に活用した医療・介護の支援体制の構築に努める R6年度診療報酬改定にともなう会員ニーズ、会員要望への対応体制の構築を進めている。 【統括部】 1.会員訪問を実施できず。 2.医療連携推進コーディネーター配置事業の内容を検討し継続		
		d.行政等との連携	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会業務の明確化を図り、取り巻く状況やニーズの変化に適切に対応した連携を行う 匹見、美都地区等へき地に関する行政との意見交換を実施した。今後、継続的に意見交換を行なっていくとともに医師確保を進める。 【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター配置事業、在宅医療介護連携推進事業等を、保健所、圏域市町との連携し、効果的に進める ①毎月、益田市との地域コア会議、益田保健所との定例会議を開催し、各事業の進捗状況の協議をしている。		
		e.医師会独自の「医療・介護推進プロジェクト」の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.「地域包括ケアシステム」への対応（役割）と必要な体制について立案する 2.地域ケア会議等への参加を通して、医師会施設や活動をPRし利用の促進を図る 3.「地域医療介護連携統括部」を核とした「医療・介護推進プロジェクト」を重点的に推進する 4.「在宅医療・介護連携推進事業」を再受託した。 【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター配置事業に在宅医療介護連携推進事業等を、保健所、圏域市町との連携し、効果的に進める 1-1-②-dと同じ 2.統括部の各事業所から現場意見を集約する ①統括部各部署の朝礼にて情報提供し、意見の集約を行っている。		
		f.地域内完結率の向上	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会内の連携強化（統括部内の連携体制の強化、病床カンファレンスの充実、退院支援体制の強化） 2.かかりつけ医との連携強化（在宅療養後方支		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
			05	06	07	事業報告	事業報告	事業報告
						援病院、機能強化型在宅療養支援診療所の検討 3.近隣病院・介護事業所との連携強化（連携会議の開催、定期施設訪問の実施、研修会の開催） 4.地域住民理解の推進（イベント等でのPR活動の検討） 【統括部】 1.圏域外の移動が予測できる患者（透析・ターミナル・呼吸器管理・食事摂取困難）の受け入れ方法の検討→ACPの普及による選別的受け入れを目指す。 2.他圏域の患者の受け入れ方法を検討する。 ①山口県の紹介先病院への訪問（2か所）（9月26日） 3.近隣の慢性期病院にて療養中の圏域内の方の受け入れ促進 ①他圏域からの転院希望者について病床活用カンファレンスについて協議（転院実績1名）		
		g.在宅医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.在宅療養後方支援病院の活用を推進する 2.地域密着型サービスや在宅入居への業務進出の検討 3.医療度の高い利用者の在宅支援 4.地域医療事業部（へき地医療を含む）の医師会事業部内での役割の明確化 ①益田市より依頼のあった匹見道川・澄川診療所の指定管理の申請を行った（9月29日） ②美都診療所との情報共有や問題解決のための美都診療所管理会の新設（6月21日より） ③益田市とのへき地医療に関する意見交換会の開催（9月8日） 【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の登録者を増やす ※在宅療養後方支援病院の登録者数 R4年度 84名 受け入れ数 18件 R5年度 53名 受け入れ数 24件 （現在は当院の受け入れ体制が十分でないため、新規獲得のための広報活動は積極的に行っていない） 2.在宅医との意見交換会の実施を計画する→実施せず 3.統括部の各事業所から現場意見を集約する 1-1-②-d-2と同じ		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
			05	06	07	事業報告	事業報告	事業報告
		h.へき地医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.へき地での医療拠点確保の検討 ・1-②-g-4と同じ 2.行政の行う施策に積極的に提言する（公共交通機関の活用、中山間地域住民の集住、巡回型医療体制の確保、住宅地域の改変等の施策） ①益田市とのへき地医療に関する意見交換会の開催（9月8日）		
	③厚生労働省が進めるデータヘルス改革への対応	a.医療・介護の情報利活用の推進（医療と介護の地域連携システムの導入と運用）	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.情報の共有化システム検討 2.MCS（介護等の連携）、まめネット（医療機関同士の連携）の利用促進	1.医療・介護 DX への対応のため、医療・介護 DX 推進チームを編成し、定期会議に加え、出張、出張報告会を開催した	
		b.自身のデータを日常生活につなげる PHR（パーソナル・ヘルス・レコード）の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.マイナンバーカードを利用したシステム類の導入 →現時点では、具体的構想を策定困難 2.オンライン資格確認システム、電子処方箋等の導入、医師資格証の普及に向け会員に情報をお知らせしている。	1.スマートヘルス事業への協力 2.PHRと医療機関の連携への情報収集	
		c.医療現場の人手不足や待遇悪化、長時間労働などが大きな問題の解決のための医療介護DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医療センター内でのIT化による職員の業務負担を軽減することの支援 勤怠管理のシステム化を研究している。	1.Ns コール、電子カルテ、医療機器等の連動を検討する 2.DX推進チームで議論を重ね、次年度に向けた電子カルテ更新を含む整備計画を策定、導入準備を継続中	1.山陰パナソニックと協同で4つの実証実験（顔認証システム、ふるまい検知、監視カメラ、ベッドセンサー）を行った。実験の結果、導入に至る成果はなかった。8月2日を以て実証実験は終了した。 2.使用手順書を作成して、業務でiPadを活用し、記録の効率化と情報共有を推進した。 3.「眠りスキャン」を活用による、生産性向上プロジェクトを立ち上げることを決定した。
		d.医師会及び関連施設へのICTの普及、リスクへの対応や周知	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会員へサイバーセキュリティの準備及び周知を行っている。		
2 医療機能再編への対応			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
2-1 地域医療構想 に応じた医療機能 再編に必要な対策 の検討と推進	①「地域医療構想」への 対応	a.「地域医療構想」の検証と対応検討 ・情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.「地域医療構想」について、医師会としての対応について継続して検討する	1.令和7年度以降の「地域医療構想」について、情報収集を行い、病院の対応方針を継続して検討する	
		b.病床機能の検証 ・必要な病床機能の検討 ・地域外流出実態の調査	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.圏域内医療実務者会議で圏域内完結率をアップを検討 ①益田圏域における実務者会議（5月19日、9月6日）に開催。圏域の各病院の問題点を洗い出す。 2.病床稼働率、在院日数、必要度の動向把握 3.当該医療機関との情報交換のシステム作り→ 多職種研修会にて情報共有について検討した	※益田地域医療・介護ビジョン委員会・プロジェクトチームにて、山陰合同銀行・日本経営のコンサルトを受け情報収集・検討を重ねる 1.病床機能再編の検証、次に備えるデータ蓄積 2.患者・利用者の流れ、Patient Client Flow Management（以下、PCFM）の確立のため、担当医師（診療部副部長）の設置を行った 3.当院で可能な病棟機能の検討・明確化を行う	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
						<p>が具体的な方法は決まらず、来年度再検討</p> <p>4.慢性期病床待機者の把握と当該医療機関訪問</p> <p>①益田赤十字病院との慢性期病棟待機者リストの作成（個人情報管理や最新版更新管理など課題共有した。）</p> <p>②介護施設への申込リストも作成し、次年度訪問の際に申込確認</p> <p>5.益田日赤での出張転院相談についてコロナ感染状況を見て実施せず。</p> <p>6.益田日赤との協議において、具体的な協議を重ねる</p> <p>①地域連携担当者会議の開催（8月24日、2月22日）紹介方法について協議を行った。</p>	<p><b>4.緩和ケア病床設置検討に向け、R6.4～準備室を設置し室長を招聘した</b></p> <p>5.将来に向けた機能の選別・縮小への検討を行う</p>	
		c.外来医療の機能の明確化・連携（医療法）	⇒	⇒	⇒	<p>【事業本部】</p> <p>1.医療機関に対し、医療資源を重点的に活用する外来等について報告を求める外来機能報告制度の創設等についての分析・検討を開始</p> <p>2.かかりつけ医機能の明確化</p>	<p>1.外来機能報告への対応を行っている</p> <p>→8月1日付で紹介重点医療機関として公表を行った</p> <p>2.緩和ケア外来設置への検討を行う</p>	
		d.病床機能ごとの運営方針の検討と策定	⇒	⇒	⇒		※7-2.3.4.5にて	
②他医療機関との連携と役割分担の検討		a.医療センター内での各病棟・施設との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	<p>【統括部】</p> <p>1.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員会の活用</p> <p>①入院患者のABC分析より退院困難者の集中的なアプローチ実施</p> <p>②入院14日アラート制度を導入し早めの退院・転棟方針の決定</p> <p>③毎週金曜にくにさき苑入所候補者の選別の協議を行っている。</p> <p>2.統括部内で、病棟～老健～在宅間のスムーズな流れの検討を行うとともに、1症例ごとに丁寧に相談・調整を行う</p>	<p>1.PCFMの確立に向けて担当医師（診療部副部長）の設置をおこなった</p> <p>2.職員に向け、各病棟の役割への理解を深める発信を行う</p>	
		b.圏域内の他医療機関との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	<p>【統括部】</p> <p>1.医療連携実務者会議の定期的継続実施</p> <p>①益田圏域における実務者会議を（5月19日、9月6日）に開催。圏域の各病院の問題点を洗い出す。</p> <p>2.益田赤十字病院・地域連携担当者意見交換会で協議する</p> <p>①地域連携担当者会議の開催（8月24日、2月22日）紹介方法について協議を行った。</p> <p>3.在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会を開催計画</p> <p>①情報共有について開催（10月25日、2月28日）</p> <p>②福祉医療ネットワークの支援（6回開催）</p> <p>③くにさき苑の主催する「まるミエール」の支援</p>	<p>1.他病院との会議等で連携を深め役割分担について引き続き検討する</p>	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
						(10月27日、11月17日、12月22日、3月22日)		
2-2 地域医療構想に応じた在宅医療機能の対応策の検討と推進	①在宅医療への支援・検討	a.調査に基づく在宅医療支援（必要性）の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.在宅医療への支援体制の必要性について検討する 2.常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能の新設の検討 3.新しい訪問サービス体制について検討する <b>①益田地域医療・介護ビジョン委員会・プロジェクトチーム等にて分析・検討を進めている。</b>  【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の積極的な利用 1-1-②-f-2と同じ 2.在宅医との意見交換会により支援策を検討→実施せず 3.退院後訪問や訪問看護の活用を検討 ①鳥根県訪問看護協会益田支部会へ参加し意見の集約を行う（4回参加）	※益田地域医療・介護ビジョン委員会・プロジェクトチーム等にて情報収集・検討を継続中 1.在宅医療への支援体制の検討を行う 2.常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能について検討を行う 3.新しい訪問サービス体制の検討を行う	
	②在宅医療機能の運営方針の検討と策定	a.在宅医療機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.地域医療事業部（へき地医療を含む）の医師会事業部内での役割の明確化 ・1-②-gと同じ  【統括部】 1.在宅医との意見交換会で在宅代診医システムの意向を確認し検討→実施できなかった。 2.会員訪問実施→実施できなかった。	1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.在宅医療機能の在り方について検討	
	③在宅復帰できない患者・利用者への対応	a.療養病棟の形態変更の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田地域医療・介護ビジョン委員会・プロジェクトチーム等にて情報収集・検討を重ねる	1.療養病棟の在宅適応患者の退院支援の実施 2.在宅困難ケースの増加に伴う、訪問診療・訪問看護・介護サービスの提供について検討する 3.現在の病棟機能から漏れる利用者の救済方法について検討する 4.医療療養病棟の在り方の検討を行い、介護医療院・特殊疾患病棟との連携を図る 5.在宅サービスの周知と連携を行う	
		b.次工程の明確化（PCFMの確立、患者・利用者をつなぐ・受け取る）	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員会の活用 2-1-②-aと同じ 2.統括部内で、病棟～老健～在宅間のスムーズな流れの検討 2-1-②-aと同じ	1.在宅医療への支援体制の検討を行う 2.常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能の新設について検討する 3.新しい訪問サービス体制について検討する	1.医師会病院を訪問し、相談を受けることを開始（8月）。17件の相談を受け、うち9件を在宅につなぐことができた。
3 医療・保健・福祉サービスの提供			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
			05	06	07	事業報告	事業報告	事業報告
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
3-1 益田圏域の医療 ニーズへの対応	① 5 疾病への対応	a.がん：緩和ケアの提供体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.緩和ケア提供体制の検討・確立を行う	
		b.脳卒中：高齢者特有の脳疾患への対応	⇒	⇒	⇒		1.神経内科医と師確保の検討を行う	
		c.急性心筋梗塞：高齢者特有の循環器疾患への対応	⇒	⇒	⇒		1.循環器医師との協働	
		d.糖尿病：糖尿病患者を支援できる体制の確立	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.糖尿病支援ネットワーク事業を推進する ・事務局として対応する 保健所と連携し、組織メンバー、運営方法について協議を進める。	1.糖尿病支援ネットワーク事業を推進する 2.糖尿病療養指導士の資格取得・継続支援を行う 3.院内に在籍している療養指導士等の活用を検討する 4.糖尿病認定看護師の資格取得に向けた支援を行う 5.のぞみ会の活性化を図る 6.腎臓内科の連携を図る	
		e.精神疾患：認知症患者の療養環境の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会として認知症へ対応できる体制について検討する（認知症サポート医の普及）	1.松ヶ丘病院との連携を検討する	
	② 6 事業への対応	a.救急医療	⇒	⇒	⇒		1.圏域救急病院と役割を分担し圏域の救急医療の一翼を担う	
		b.災害医療 大規模事故・災害援助体制の確立と支援体制の整備	⇒	⇒	⇒	(6-①と同じ)	1.医師会及び圏域救急病院と協力し、圏域の災害医療の一翼を担う 2.災害支援ナースの養成研修 3名受講終了	
		c.へき地医療 へき地医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	(1-②-hと同じ)	1.地域医療拠点病院として、へき地巡回診療継続実施（年間延べ189回） 2.診療応援体制の検討（匹見・美都）	
		d.周産期医療	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市医師会として周産期医療の協力をする。		
		e.小児医療 圏域での小児医療の提供への協力	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.小児科専門医療機関減少への対応 2.医師不足の中での学校検診等の維持 3.ワクチン接種等への協力		
f.新興感染症拡大時の医療 感染症発生時の圏域での体制づくり	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会としての対応 ①診療・発熱医療機関としての登録 ②ワクチン接種事業への参加 ③新興感染症の周知活動への協力 ④圏域カンファレンスや訓練の実施	1. 益田市医師会員、益田赤十字病院・松ヶ丘病院等との連携の継続し、合同カンファレンス等を実施 2. 感染対策向上加算2を取得。引き続き加算1を目指す。 改正感染症法に基づく医療措置協定締結と協力医療機関の指定手続きを実施			
③医師会独自事業について	a.休日応急診療所の運営について	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市と協働して休日応急診療所の運営方法について検討している			

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告	
			05	06	07				
		b.肺炎等増加する疾病への対応の確立	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.増加する肺炎等へのより適切な対応について検討する 2.誤嚥性肺炎等、歯科医師会、歯科衛生士会、言語聴覚士等での協働 3.摂食嚥下障害看護認定看護師の配置・育成を検討する 4.呼吸器内科との連携	1.呼吸器内科医師の確保		
3-2 益田圏域の保健等ニーズへの対応	①圏域の保健医療について	a.予防の推進活動（予防の重要性の周知）	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.健康予防の情報提供、健康相談の充実 2.普及啓発活動の実施	1.あらゆる機会を通じ、予防の重要性等を周知		
		b.圏域での検診・人間ドック実施数の拡大	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市と協働して圏域にある健診機関の把握と紹介を行う	1.益田圏域での中心的な役割を担う		
		c.ワクチン接種等予防事業の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市の行う各種ワクチン接種事業への参加			
	②保健予防センターについて	a.保健予防センターの活用	⇒	⇒	⇒		1.人間ドック受け入れ枠の拡大の検討 2.休日健診の実施を検討する 3.健康予防の情報提供、健康相談の充実を図る 4.普及啓発活動の実施 5.特定保健指導のニーズを調査し、必要な体制整備の実施		
		③特定健診・保健指導の推進	a.圏域での特定健診の把握し、保健指導につなげる	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市と協働して特定保健指導のニーズを調査し、必要な体制を整備する		
			b.実施医療機関への支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.特定健診のデータ処理を医師会が取りまとめ（外部委託）をし、実施医療機関の負担を軽減する		
3-3 益田圏域の介護等ニーズへの対応	①介護ニーズの検証と持続可能な取り組み	a.入所系サービス	⇒	⇒	⇒	1.介護医療院（在宅機能）の活用を図る	1.ターミナルケアを開始した（6名死亡退所、うち5名ターミナルケア実施）。 2.ターミナルケアを実施していく上で必要な知識、技術、意思の尊重等、次年度プロジェクトを立ち上げて学習していくことを決定した。 3.認知症の対応力を強化するための取り組みを実施した。 ・介護福祉士1名「認知症介護実践研修」受講。 ・「リハ職のための認知症ケア講座」修了（OT1名）。 ・認知症サポート研修会を開催し、74.5%の職員が「認知症サポーター」になった。 ・認知症ケア係による症例発表および全職員を対象とした勉強会を実施（全5回）。		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
			05	06	07	事業報告	事業報告	事業報告
								4. リセット率（在宅期間3ヵ月）を意識したベッド調整を実施しリセット率が向上した（28%→40%）。 5. 居宅や退所先のデータ収集・分析を行った。 6. 居宅別紹介件数、退所先についてのデータ収集と分析をし、管理職会議で報告をした。
		b.通所系サービス	⇒	⇒	⇒			1.通所型Cの対象者の分析をし、運営方法等について検討している。包括支援センター職員と話し合いを行った。 2.入所担当療法士と情報共有・意見交換し、効率的なリハビリを提供した。 3.3ヶ月に1回の定例会議、月1回の職種別会議、都度相談を通して入所担当職員との連携を図った。 4.地域の居宅サービスについての理解を深めるために、新入職・異動時にオリエンテーションを実施。また、サービス担当者会議を活用して他事業所の要望を伺った。
		c.訪問系サービス	⇒	⇒	⇒		1.訪問リハのニーズの掘り起こし、連携強化、件数の拡大を図る ・院内リハスタッフ、病棟への介入 →リハスタッフとの症例検討・説明の機会を14回実施 KPI：月平均100件→月平均83.2件 2.訪問系スタッフの人材育成を行う 3.他施設の状況や当事業所に関するデータ分析等により、益田市における訪問リハの在り方を明確にする ・県内他事業所の状況について情報収集を年度3施設以上行う →1件 ・要介護者、紹介件数や地域、居宅等についてデータ分析を行う →未実施	1.退所後の訪問リハビリを推進した（新規サービス開始4名）。
		d.居宅系サービス	⇒	⇒	⇒			1.虐待防止対策、災害対策、感染対策を講じて、サービス提供体制の維持に努めた。
4 利用者サービスの向上と創出			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
4-1 利用者サービスの向上	①安全な医療環境の整備	a.安全管理者の養成	⇒	⇒	⇒		1. 看護部以外の医師、診療部でも医療安全管理者の養成を行う。事務部は安全対策担当者の養成を行う。 2.安全対策担当者の介護医療院への配置を検討する 3.各部署リスクマネージャーの医療安全知識の理解力を高める KPI：医療安全講習を毎年3名以上受講させる →事務2名、放射線技師1名が日医の医療安全推進者養成講座修了	1.介護職1名、事務職1名が老健リスクマネージャー資格を取得（8月）。 2.看護職1名「医療安全管理者」資格取得。 3.身体拘束適正化担当者を選任し、3ヵ月に1回委員会を開催した。
		b.医療事故発生時の対応体制の確立	⇒	⇒	⇒		1.医療安全対策室を中心に初動対応と報告体制等について確認した	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告	
			05	06	07				
		c.医療機器の安全の確保	⇒	⇒	⇒		1.臨床工学科に科長を配置し、機器管理体制の強化を図った 2. ME 機器点検の強化のため、担当者を育成		
		d.院内感染対策の充実に向けた取組	⇒	⇒	⇒		1. 必要な環境の整備の継続・体制の強化を図る。 2.感染管理認定看護師研修 1名受講終了		
		e.院内感染発生時の対応の強化	⇒	⇒	⇒		1.ICT 活動の充実に図る 2.保健所との連携を強化する 3.感染対策向上加算2を取得（R5.11～） 4.益田赤十字病院・松ヶ丘病院との連携の継続を行う（合同カンファレンスの開催等） 5.アウトブレイク時の担当者支援体制の構築を検討する 6.後進の育成 7.介護医療院への感染対策担当者の配置を検討する	1.感染対策研修 2回済（全職員対象）。 2.全事業所のBCP作成完了。	
		f.安全な薬剤管理の充実	⇒	⇒	⇒		1.薬剤科に科長・主任・副主任を配置し体制強化を図った 2.薬剤の安全性の向上を図る 3.薬剤管理サマリー等による保険薬局との連携を図る →退院時薬剤情報連携加算の算定取得に向け、準備を行う 4.介護医療院での薬剤管理指導の算定準備を実施（R6.4から算定開始した） 5.地域フォーミュラー検討のため、益田赤十字病院薬剤部と連携し採用薬の見直しを行った 6.薬剤管理指導の充実に図るため、薬剤科の業務体制を見直し、指導件数100件/月を下回らないよう維持しつつ+20件の目標を掲げ、継続した薬剤管理指導を行った	1.かかりつけ医連携薬剤調整加算算定開始（7月）。 2.かかりつけ医連携薬剤調整加算算定件数（Ⅰ：102件、Ⅱ：49件、Ⅲ：19件）。	
		g.高齢者の増加に対応できる看護体制や療養環境の整備充実	⇒	⇒	⇒		1.医療・介護 DX 推進チームの立ち上げ、定期的な会議の開催 2.医療・介護 DXへの検討・導入に向けての準備を行う	1.「眠りスキャン」の説明会を開催（7月）し、導入に向けて準備を開始した。	
		②サービスの質向上	a.診療の質を上げるための部門の検討	⇒	⇒	⇒		1.皮膚・排泄ケア、認知症看護、糖尿病看護及び摂食・嚥下障害看護認定看護師の育成を行う→摂食嚥下認定看護師 1名受講終了 2.排尿自立指導料取得のための専門看護師及び、排尿ケアに係るチーム、専任看護師の養成を行う→研修を終了した専任看護師 1名配置しチーム稼働開始	
			b.診療の質を上げるための「働き方改革」の推進	⇒	⇒	⇒		1.一人一人の生産性の向上と向上のための教育・支援体制の構築と機会の提供 2.医療・介護 DXへの検討・導入に向けての準備を行う	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
		c.既存部署毎に診療・介護の質を上げるための対応策の実施	⇒	⇒	⇒	<p>【統括部】</p> <p>①病院・くにさき苑と協働して行った。</p>	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期ビジョンの確実な実行（課題・問題点の明確化及び共有、改善）</li> </ul> <p>【診療部】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.人材確保、人材育成、スキルアップ支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職能団体等の育成教育研修等の活用を図る</li> <li>・次世代の育成</li> </ul> </li> <li>2.タスクシフト・シェアの推進・実行</li> <li>3.他職種・多職種協働の実践</li> </ol> <p>①薬剤科</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 次世代育成、体制強化のため、科長・主任・副主任を配置した</li> <li>2) 病棟への薬剤師配置の推進し、一般病棟、療養病棟で配置を継続した</li> <li>3)病院薬剤師会認定薬剤師の育成 →令和6年度に1名認定試験予定</li> <li>4)がん、緩和、感染、栄養、腎臓病、糖尿病、精神、老年薬学等、各種専門性を有した薬剤師の育成</li> <li>5)バイオ後続品導入初期加算指導料算定への連携</li> <li>6)地域フォーミュラー検討のため、益田赤十字病院薬剤部と連携し採用薬の見直しを行った</li> <li>7)薬剤管理指導の充実を図るため、薬剤科の業務体制を見直し、指導件数100件/月を下回らないよう維持しつつ+20件の目標を掲げ、継続した薬剤管理指導を行った</li> </ol> <p>②放射線技術科</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 次世代育成、管理職の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・副主任を登用した</li> <li>・学術活動を奨励し学会等への参加を推進した</li> <li>・全技師が告示研修を修了した</li> <li>・各種認定取得更新の奨励（検診マンモグラフィ撮影技師認定等）</li> <li>・日本医師会医療安全推進者養成講座修了</li> </ul> </li> <li>2)計画的な機器整備と補助金の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高額医療機器整備事業で放射線検査機器を更新（一般撮影装置、一般撮影用平面検出器、CT装置）</li> </ul> </li> </ol> <p>③リハビリテーション科</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護部との協働（主に病棟） <ul style="list-style-type: none"> <li>・回復期リハ病棟における3月からの早出開始、遅出の時間変更 →3月より実施中</li> <li>・日勤帯における病棟への関り強化 →しているADL、できるADLの差を無くしていく為の病棟訓練等の取り組みを協働して実施</li> </ul> </li> <li>2)センター内におけるリハ機能の明確化と啓発を行う</li> <li>3)365 日リハ提供体制の検討（一般病棟、地域包括ケア病棟）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.看介護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止のための取り組みとして、研修会の開催を検討した。</li> <li>・身体拘束適正化委員会を定期的に開催した（6・9・12・3月）。</li> <li>・介護技術を統一するためにマニュアルをリニューアルした。</li> <li>・マニュアルに対応した「評価指標」を作成し、技術の評価を開始した。</li> <li>・業務の効率化および一貫性のあるケアを提供するために、短期入所のケアプラン期間を「居宅サービス計画書」に合わせることにルールを変更した。</li> <li>・判定会で暫定プランを立案し、業務効率の向上を図った。</li> <li>・薬剤に関する一部の業務を薬剤師にシフトした。</li> <li>・療養棟内業務の一部を外部に委託した（5月）。</li> <li>・療養棟 2 階のユニット制を廃止し、サービス提供体制を統一した。</li> <li>・外国人技能実習生 2 名を計画的に育成し、2 名とも介護技術初級試験および日本語能力試験 N3 に合格した。</li> <li>・排泄ケアを充実させるための現状調査と環境整備を実施した。</li> <li>・全看介護職員およびセラピストに BLS 取得させることを決定し、研修開始した（期間：R5.10 月～R6 年度、R5 年度：16 名受講）</li> <li>・ターミナルケアを開始した。</li> <li>・自立支援促進加算の算定を開始した（9月）。</li> </ul> </li> <li>2.通所リハビリテーション <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳を活用し、ご家族との連携強化と業務改善を図った。</li> <li>・職員の改善意識を醸成する目的で、毎日ミニミーティングを実施した。</li> </ul> </li> <li>3.リハビリテーション科 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ会議において、サービス内容の検討を実施した。</li> <li>・認知症ケア係が中心となり全職員を対象に認知症に関する勉強会を開催した（全5回）。</li> <li>・データ集積・分析を継続し、リハビリ計画にフィードバックした。</li> </ul> </li> <li>4.相談員 <ul style="list-style-type: none"> <li>・判定会議において、動画で対象者の状態を伝え、より効果的な情報共有を開始した。</li> </ul> </li> </ol>

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
						<p>4)地域ケア個別会議や介護予防事業等への連携体制の確立</p> <p>5)来年度の診療報酬改定に向け、管理栄養士、セラピスト、歯科衛生士の協働方法を検討する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設からの情報収集</li> <li>・協働方法について関係職種でのミーティング開催（11月～1月1回/月、以降は必要時開催）</li> </ul> <p>6) RE-Gait 入院の受入、PRを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内通所介護事業所（1件）、センター内通所リハ事業所への説明とデモンストレーションの実施</li> </ul> <p>④臨床検査科</p> <p>1)看護部のタスクシェア・タスクシフトとして、外来採血の支援を実施</p> <p>2)次世代育成、管理職育成</p> <p>3)内視鏡室の支援として洗浄業務を支援、エコー検査を担当できるよう体制を構築</p> <p>4)日本臨床衛生検査技師会 精度保証施設認証制度への検討</p> <p>⑤臨床工学科</p> <p>1)透析室・看護部との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・透析室：リーダ業務、透析機械室等の技士専門業務に対応できる技士を2名→5名に増</li> </ul> <p>2)科長を配置し体制強化を図った</p> <p>3)内視鏡室との連携、他診療部との連携</p> <p>⑥栄養科</p> <p>1) 栄養管理の充実・質向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・症例検討会実施（NST 回診症例毎）</li> <li>・部門内研修の実施（月1回）</li> <li>・医療チーム活動の情報共有（委員会開催毎）</li> </ul> <p>2) 看護部との協働を検討する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養管理委員会にて必要時協議（月1回）</li> </ul> <p>3) 管理栄養士の病棟配置の検討と業務調査を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養管理、給食管理業務分担の状況確認</li> <li>・栄養管理状況の評価項目を検討</li> <li>・栄養管理、栄養指導に対応できる管理栄養士の育成</li> </ul> <p>4) <u>来年度の診療報酬改定に向け、管理栄養士、セラピスト、歯科衛生士の協働方法を検討する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職能団体からの情報収集</li> <li>・協働方法について関係職種でのミーティング開催（11月より月1回）</li> </ul> <p>⑦医療介護相談室</p> <p>1)患者・利用者の流れ（PCFM）の把握と構築（Patient Client Flow Management）</p> <p>2) 個人個人のスキルアップ</p>	<p>・研修会に参加しサービスの質向上に努めた（9/8：県老健協会支援相談員部会、6～8月：主任ケアマネ更新研修、看取り研修）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ACP を意識した利用者ニーズの把握に努めた。</li> <li>・毎月入所利用者の利用目的や介護度についてデータ収集を実施した。</li> </ul> <p>5.栄養科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養ケアを充実させるために、次年度からの栄養マネジメント強化加算の算定開始を目指すことを決定した。</li> <li>・栄養ケアの充実および令和6年度算定開始に向けて追加の人員配置を検討した。</li> </ul> <p>6.新任医師が、「老人保健施設管理医師総合診療研修会」を修了。</p> <p>【訪問看護】</p> <p>1. <b>24時間対応の復活に向けた体制を整備し、R6.4月より対応再開することを決定した。</b></p> <p>2.担当制からチームケア制に変更した（9月）。</p> <p>【居宅介護支援事業所】</p> <p>1.事例検討会の研修会に参加し（6/14）、ケアマネジメント技術の向上を図った。</p> <p>2.オンラインの活用等により積極的に研修会へ参加し（26回）、伝達研修を実施した（12回）。</p>	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部	
			05	06	07	事業報告	事業報告	事業報告	
							<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士育成と人材確保のための実習指導者養成（R5年度講習会への参加）</li> <li>・学生実習再開へ向けた情報収集</li> <li>・スキル向上のため研修会等への参加推進</li> </ul> <p><b>【看護部】</b></p> <p>※看護部体制が大きく変わり、新体制の強化と、次世代育成と支援を実施。教育担当師長・士長の配置を行った</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.看護・介護職員の確保と定着を図る <ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒 3 年以内の退職の低減を目指したが、R5 年度 20%（前年度 21.7%）となり、全体と比較しても経験の浅いスタッフの定着が課題である</li> </ul> </li> <li>2.教育体制の充実のため、キャリア支援センターを R6.4～設置し体制を明確化。担当者を配置して体制強化を図る。</li> <li>3.人材育成、スキルアップの支援</li> <li>4.次世代管理職候補の選定と育成を図る</li> <li>5.師長・主任の認定看護管理者教育課程への計画的な参加（毎年度、2名程度参加）</li> <li>6.管理職へ理念の浸透と経営意識形成と醸成</li> <li>7.認定・特定・医療安全等への人選と育成支援</li> <li>8.看護部の働き方改革の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護部事務クレークの配置</li> <li>・看護部内タスクシフト・シェアの検討</li> <li>・他部署とのタスクシフト・シェアの推進</li> <li>・医療・介護 DX について推進チームのメンバーを中心に情報収集・導入検討を行った</li> </ul> </li> <li>9.教育の支援体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自で学べる e ラーニングを継続し、コロナ禍でも学習機会の提供、また自己学習や院内研修にも役立てる（看護・介護職員対象）</li> </ul> </li> <li>10.全病棟 12 時間夜勤制の令和 6 年度導入に向け一部病棟で試行開始した（R6.2～）</li> <li>11.患者・利用者の流れ、Patient Client Flow Management（以下、PCFM）の確立のため、各部署で検討し、実践する</li> <li>12.定期的な異動による PCFM の実践能力を身に着けさせる方針に基づき師長の異動配置を実施した</li> </ol> <p><b>①外来</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)内視鏡検査技師の育成・協働を図る</li> <li>2)病棟応援体制の構築を検討する <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院時、病棟応援看護師業務の確立</li> </ul> </li> <li>3) 外来・手術室の統合を図り協業体制を強化した</li> </ol>		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
			05	06	07	事業報告	事業報告	事業報告
							<p><b>②手術室</b></p> <p>1) 手術数減少に伴う病棟・外来等への応援体制を構築し、手薄な部署へ積極的に支援を行った</p> <p>2) 外来・手術室の統合を図り協業体制を強化した</p> <p><b>③保健予防センター</b></p> <p>1)保健予防センターの機能促進を図る</p> <p>2)健診枠の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間ドック受入れ人数の増加を図る</li> <li>・企業健診の増加を図るため、R6.4 より午後の企業健診枠を拡張した。受検者拡大に向け営業活動を強化していく</li> <li>・検査技師の超音波検査従事体制などの準備を進めた</li> <li>・特定保健指導実施（管理栄養士協働体制の構築）</li> <li>・疾病予防のための活動の推進（休日乳がん検診、休日検診、事業所健診、特定健診などの実施）</li> <li>・健康教室の開催（メンタルヘルス対策への外部活動）</li> <li>・ストレスチェック事業の実施</li> <li>・心の相談業務などの実施</li> <li>・職員の健康保持増進についての支援を行う</li> <li>・人材確保と育成</li> </ul> <p><b>④医療安全対策室</b></p> <p>1)安全な医療・介護の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメントにおける職員教育の実施</li> <li>・多職種協働、患者参加の推進</li> <li>・職場環境の整備への提言を行う</li> <li>・安全な医療機器の取り扱い（ME との協働）</li> <li>・部門間の協力、情報共有を図る</li> <li>・改善活動の推進</li> <li>・転倒・転落防止対策の検討</li> <li>・医療事故への対応</li> </ul> <p><b>⑤感染対策室</b></p> <p>1)感染対策環境の充実を図る</p> <p>2)ICT チームの強化</p> <p>3)感染管理体制強化のため感染管理認定看護師の1名受講修了</p> <p>※新型コロナウイルス感染症対策について、徐々に一般の感染症と同様の取り扱いに移行するよう準備を進めた</p> <p>※病棟に関しては7-2・3・4にて</p> <p><b>【事務部】</b></p>	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告	
			05	06	07				
							1.人材育成、スキルアップの支援 ・スキルアップのための資格取得を奨励し、第1種衛生管理者1名合格、医療情報技士1名合格、施設基準管理士2名合格となった ・医療・介護DX推進に向け、チームを立ち上げ情報収集及び整備計画を立案、R6年度電子カルテ更新等に向け準備中 ・他病院研修として、事務次長を愛仁会尼崎だもつ病院へ出向させ研修を実施 2.事務職員として理念の浸透と経営意識の形成 3.短期ビジョン実現のために「自ら考え行動する」 4.「変化・変革」に対応するイノベーターシップ（マネジメント+リーダーシップ）の醸成 5.医療・介護現場からのタスクシフト・タスクシェアの検討及び実践 6.事務職員としての必要なスキルの把握と周知 7.令和6年度医療マネジメント学会島根支部学術集会の事務局に携わることで職員育成に役立てる		
③利用しやすい施設づくり （広報）	a.広報活動体制の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う 2.HPを利用した開業希望医師への呼びかけ、R6年度診療報酬改定にかかる会員のデジタル対応などの検討を進めた。	1.効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う 2.魅力ある広報誌の誌面作りを目指し、デザイン会社への編集委託を検討、費用面で断念 3.多くの媒体を利用した広報対策を検討し実施する			
	b.情報誌（双葉他）の魅力化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.魅力ある誌面作りに取り組んでいる 【統括部】 1.連携室だよりの発行と充実 ①病院だよりに記事として掲載（1回発行）	4.ホームページを含め次年度に抜本的な見直しを計画していく			

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	事業報告	事業報告	事業報告
		c.H Pのリニューアルの検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.新しい感覚による見たくなるホームページについて検討する 2.公益社団法人としての情報掲載について検討する 【統括部】 1.在宅医療介護連携推進事業内容を適宜更新する ①「医療介護資源 MAP」の更新予定であったが、再検討が必要であることから益田市からの指示で中止となった。（在宅医療介護連携推進事業） ②『わたしの街の医療・介護情報』の利用状況調査（115/187 か所）を実施し、冊子での作成を希望する施設が多かった→次年度作成について益田市と検討することとなった 2.統括部の役割・体制について掲載内容を充実させる		
		d.インターネット（HP・SNS）の活用促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.インターネットを活用した病院の周知対策として、新たな発信方法を展開する 複数の SNS による情報発信を継続的に行なっている。		1. Instagram を活用し、情報発信を促進した（27回（前年度比+23回））。 2. フェイスブックを活用した情報発信を促進した（29回（前年度比+21回））。
		e.関係機関や地域への広報の実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.多くの媒体を利用した広報対策について検討し実施している。 有効な掲載内容の検討を進めていく 【統括部】 4-1-③-cと同じ		1.くにさきだより：3回発行。 2.市内在宅介護支援事業所のケアマネおよび益田赤十字病院相談員との良好な関係作りのための交流会「まるみエール」を開催し、意見交換を開催した（10・12・3月）。
5 医師会共同利用施設活用への支援と利用促進			計画年度			事業本部・その他		くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
5-1 会員が利用しやすい共同利用施設の運営	①会員が利用しやすい共同利用施設の運営体制	a.会員医師と職員との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用	1.会員医師との連携を強化し共同利用を推進する 2.会員と常勤医師の協議の場を設定する 3.毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、事業部全体へフィードバックを行う	
		b.開放型病棟、手術室の利用促進	⇒	⇒	⇒		1.地域医療支援病院、共同利用施設として利用を促進する	
		c.共同利用検査機能の充実（臨床検査センター以外の検査）	⇒	⇒	⇒		1. 地域医療支援病院、共同利用施設として利用を促進する →放射線検査（CT・MR）の予約受付体制の	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
							充実（Webによる24時間予約受付、検査予約枠拡大等）を図った	
②地域医療支援病院としての機能の充実		a.紹介患者に対する医療の提供 紹介率の向上対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用 ①病院と協働でおこなった。→実施せず。	1.会員との連携の更なる強化を図る 2.退院調整能力を向上させ、ベッドコントロールを行い、受入態勢の強化と紹介率向上を図る ・4階病棟、包括ケア病棟での会員・益田赤十字病院紹介で受け入れ困難ケースのリストを作成し、拒否しないような体制をとれるよう分析を行っている 3.地域医療介護連携統括部と病棟との連携強化を図る 4.退院調整看護師による退院支援の充実を図る 5.入院時対応強化と退院調整への流れの確立を行う	
		b.救急の維持対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用→実施せず	1.圏域救急病院と役割を分担し圏域の救急医療の一翼を担う 2.会員の協力体制について検討する	
		c.共同利用の促進対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用→実施せず	1.医療機器等の共同利用の推進を図る →放射線検査（CT・MR）予約受付方法の充実を図った 2.ニーズ・必要性・経営状況等、多角的に検討し最新医療機器・備品の整備として、最新CT装置への更新を行った他、画像診断を外部委託に移行（R6.3～） 3.医療材料等の共同購入の検討を行う	
		d.地域の医療従事者に対する研修の実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター事業（R4年度から新規開始予定）、在宅医療介護連携推進事業を活用した研修会の開催、介護事業所での出前研修の開催 ①出前研修会を8回実施 2.在宅医療・介護連携推進のための、多職種研修会の企画・開催 ①医療と介護の情報共有について開催（10月25日、2月28日）	1.会員医療機関、介護施設他の従事者に対して医師会研修会の開放を行う 2.医師会、薬剤師会等との共同の研修会開催 3.病院・くにさき苑が研修受入機関となり研修生を積極的に受入れて行く 4.島根大学医学部附属病院スキルアップセンターと指導を受け、院内インストラクターを中心とした研修を企画・検討している	
		e.かかりつけ医の支援対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の積極的な利用 1-1-②-f-2と同じ 2.在宅医との意見交換会で支援策を検討 3.退院後訪問や訪問看護の活用を検討 ①島根県訪問看護協会益田支部会へ参加し意見の集約を行う（4回参加）	1.在宅療養後方支援病院として、かかりつけ医の診療支援をおこなう ・在宅療養後方支援病院の登録者数 53名 入院受入数 24件 （施設入所・死亡等により登録者数は減少、病棟受入体制が十分整わないため積極的な拡大は行えていない） 2.対応困難な診療への支援として、島根大学附属病院ホットラインの活用を周知する 3.休診・休日・夜間の支援体制の検討を行う 4.医師会員のニーズに対応した体制の検討を行う	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
			05	06	07	事業報告	事業報告	事業報告
	③臨床検査センターの安定した運用	f.医師少数地区等を支援対策	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.へき地での医療拠点確保の検討 ・1-②-gと同じ 【統括部】 1.医師の意見交換会で検討	1.地域医療拠点病院として、へき地巡回診療等の事業を継続する（巡回診療6か所年間延べ189回）	
		a.臨床検査センターの運用データの収集	⇒	⇒	⇒		1.開設以降の各種データを収集・蓄積する	
		b.臨床検査センターの運用について会員意見聴取	⇒	⇒	⇒		1.医師会員訪問に同行し、意見聴取を行う	
		c.臨床検査センターの運用方法の検討	⇒	⇒	⇒		1.収集したデータ・意見等を元に運用方法の検討し 細菌検査の外注化へ移行した 2.臨床検査センター独自の検体取扱件数増加への取り組みを図る 3.保健予防センター（企業検診等）との協働を行う 4.益田市スマートヘルスケア事業への協力を行う	
5-2 医師会としての 会員支援の検討	①開業・廃業・継承時の支援	a.支援方法の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.山陰合同銀行とタイアップした開業・継続・廃業サポートプログラムの運用 2.HPを使い開業を希望する医師への呼びかけの準備を行なった。		
	②会員医療事故への対応	a.医療事故支援体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医療事故研修会等への参加を促進する 2.医療事故相談体制について検討する		
	③診療所経営に関する支援	a.診療報酬等の算定支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.研修会等の実施 2.会員のニーズ、要請事項の収集と対応を進めた。		
	④会員医師の生涯教育の推進と技術の向上	a.医療技術の生涯教育への支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学術講演会及び病院主催の技術研修会の開催等の実施		
<b>6 地域社会への貢献</b>			<b>計画年度</b>			<b>事業本部・その他</b>	<b>病院事業部</b>	<b>くにさき苑事業部</b>
<b>推進課題</b>	<b>対応方針</b>	<b>実施計画（評価指標）</b>	<b>05</b>	<b>06</b>	<b>07</b>	<b>実施事業（計画）</b>	<b>実施事業（計画）</b>	<b>実施事業（計画）</b>
6-1 大規模事故・災害時の援助体制の整備充実	①大規模事故・災害援助体制の確立と支援体制の整備	a.災害時の益田市医師会の役割の確定・益田地域災害医療対策会議への参加	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.引き続き災害時の支援体制について協議・検討する	1.益田市医師会、圏域救急病院と役割を分担し圏域の災害医療の一翼を担う	
		b.大規模事故・災害時の連絡体制の確立と通	⇒	⇒	⇒	【事業本部】	1.益田市医師会、圏域救急病院と役割を分担	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
		信方法の確保				1.行政等関係機関を含めて連絡網等の整備と周知を行う	し圏域の災害医療の一翼を担う	
		c.大規模事故・災害対応に関する規程類の作成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.対応に当たって必要な規程について検討し、整備する 2.B C P（危機管理における事業継続計画）の策定継続 【統括部】 ①統括部内で居宅の災害・感染 B C P も元準備している。	1.本部と協働して B C P（危機管理における事業継続計画）を作成。今後、各部署単位での検討に移行する。新興感染症流行時の B C P は介護医療院分を作成した。次年度に向け病院全体の計画を作成する	1.全事業所において B C P を作成した。
		d.行政等が行う災害訓練への積極的な参加と、医師会独自の訓練の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市医師会救護班の役割分担	1.益田市医師会、圏域救急病院と役割を分担し圏域の災害医療の一翼を担う	
6-2 労働者の健康管理への支援	①認定産業医のスキルアップ	a.認定産業医のための研修会の開催	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.産業医部会事業として研修会等の開催に努める		
	②地域産業保健センターと協働した健康管理	a.地域産業保健センターとの連携・協働	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.従業員 50 人未満の事業所の健康管理を中心にこなっている		
6-3 園児・学童の健康管理への支援	①健康管理支援体制の強化	a.教育委員会及び学校等との連携強化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学校医部会・園医部会の活動を通じて連携の強化に努める 2.学校医・園医の担当数の適正化 3.益田市要保護児童対策地域協議会の普及活動に協力する		
		b.養護教員等の医療知識向上の協力	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学校医部会・園医部会の活動を通じて協力する		
6-4 地域への啓発活動	①医師会主催のイベント・講演会等の見直しと活性化	a.医師会まつりの活性化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会まつりの活性化に向け検討結果を具体化する これまでの医師会まつりとは違う新たなイベントを検討していく		
		b.その他イベント・講演会等について、マンネリ化の回避	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.イベント・講演会等の検証と先進事例調査等に基づき見直しを行う 【統括部】 1 地域住民への医療・介護知識の普及のための「あんきな座談会」の実施（9回）（在宅医療介護連携推進事業）		
6-5 地域社会貢献の実施	①可能な地域社会貢献の検討と促進	a.現体制で何ができるのか検討と社会貢献の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医療センターが行う社会貢献について検討する 2.益田市民が行っている社会貢献への参加		1.地域貢献活動の実施・検討 ・みんなの保健室（キヌヤ月1回）を再開。合計5回開催し、平均10人/回の利用があった。（訪問看護） ・くにびき学園にて「地域包括ケアシステム」を知るという内容で講演（5/19・26）。（くにさき苑） ・市内の医療・介護従事者に対して、くにさき苑でのコロナ感染症の施設内療養について講演

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
			05	06	07	事業報告	事業報告	事業報告
								(10/2)。(くにさき苑) ・リハビリテーションカレッジ島根にて学生を対象に講義を実施（リハ科）。 ・ケアマネとの交流会（まるみエール）を開催し（3回）、地域のニーズや老健の役割を検討した。 (くにさき苑) ・地域ケア個別会議へ積極的に参加した（4/28、5/22、8/21、9/19、11/20、12/12、3/15）（通りハ）
	②会員・職員の地域活動に対する支援	a.地域社会活動への会員の参加促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.情報提供等を行い参加の促進に努める 2.地域住民の参加でき、地域での暮らしを支援する企画を検討する		
		b.地域社会活動への職員の参加促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会議等を通じ啓発を行い、参加の促進に努める		
6-6 地域社会活動の支援促進	①地域社会活動に企業ボランティアとしての支援方法の検討	a.地域社会活動に継続的に支援できる方法の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.地域社会活動へ医師会としての支援の方法について検討する	イベント救護派遣2件	
		b.地域イベントに医師会救護班等の人的支援の促進の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.引き続き医師会の人的資源を活用した支援について推進する 2.引き続き医療救護班への派遣、地域行事・学校行事への派遣等を実施		
7 安定した経営基盤の確保			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
7-1 医師会組織の安定した経営基盤の確保	①中長期計画の着実な実行のための組織・体制の構築	a.効率的でわかりやすい組織の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.中長期計画の着実な実行のための組織・体制の検討 2.中長期計画第5期実施計画（R08年度以降）の協議内容の検討		
		b.ガバナンス体制の構築	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.公益法人運営の重点事項として、しっかりとした統治が行える体制の構築について不断の努力を行う		
		c.規則・規程等の見直しとコンプライアンスの徹底	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.規則、規程類を整合性・不備等について検証し、必要な見直しを行う 2.公益法人運営の重点事項としてコンプライアンスの徹底について不断の努力を行う		
	②コスト意識と法律に基づ	a.コスト意識と、経営への参画意識の醸成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
	く適正な会計の実施					1.研修及び勉強会等の実施により、経営の安定が あつて、発展につながるとの意識を持った組織 を目指す→9月日本病院会病院中堅職員 財務・会計セミナー参加1名  2.業務の改善に当たっては、常に費用対効果を 判断基準のひとつにおき推進する →日本病院会DX研修1名参加		
		b.コスト管理を重視したシステムの導入 ・原価計算の導入 ・業務効率化のための本部システムの検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.原価計算管理を導入するため、管理グループ・ 医事課を中心に原価管理プロジェクトを設置す る →新規クリカルパスに原価計算要素を入れて 作成予定を検討 2.原価計算管理の導入判断と具体的システム 投資について検討する 3.事業ごとの病棟別等収支状況の分析を継続 する		
		c.経理関係の法令改正への対応	⇒			【事業本部】 1.事業所ごとにインボイス制度に対応した請求書 発行を確認。 2.電子帳簿保存制度に対応する新サービス導入 し電子証憑の保存に対応済。		
7-2 病院 一般病棟の安定 した運営	①効率的な一般病棟の 運用	a.一般病棟の在り方の明確化と運営方針	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れの支援 2.周辺施設、特に日赤との連携を進める ・実務者会議、地域連携担当者会議の実施 3.病床活用カンファレンスでの意見の集約・調整 4.益田日赤での出張転院相談継続実施（コロ ナ感染状況をみて実施せず）	1.短期ビジョンの確実な実行 2.医師会員との情報交換の充実を図る 3.4階病棟の在り方とPCFMの確立 4.病床活用カンファレンスを有効利用し、入院患 者の長期化を防ぐ ・入院患者の退院調整のABC分析により退院 困難者の早期抽出と集中的なアプローチを行い 在院日数の短縮が図れるようになっている ※平均在院日数17.2日（前年度比3.6日 短縮） ・DPCⅡ期間の周知により早めの退院・転棟方 針を決定するようにした ・くにさき苑入所候補者の選別の協議を実施し ている 5.近隣病院や介護事業所との連携強化による 対象者の転院の促進を図る 6.次期診療報酬改定へ向けて、急性期一般入 院基本料の今後の展開について検討中 7.地域包括ケア病棟、療養病棟、回復期リハ等 の入院料維持のための迅速な病棟間連携を 図る 8.医師会員、介護事業所との連携による在宅復 帰等への機能強化を図る	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
							9.常に次期改定を視野に入れて、情報を蓄積し対応策を検討する	
7-3 病院 地域包括ケア病棟の安定した運営	①効率的な地域包括ケア病棟の運用	a.効率的な地域包括ケア病棟の運用	⇒	⇒	⇒	<p>【統括部】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>紹介患者のスムーズな受け入れの支援</li> <li>周辺施設、特に日赤との連携を進める ・実務者会議、地域連携担当者会議の実施</li> <li>病床活用カンファレンスでの意見の集約・調整</li> <li>くにさき苑への転院の早期の準備体制を構築する。（医療・介護連携委員会の活用）</li> <li>益田日赤での出張転院相談継続実施（コロナ感染状況をみて実施せず）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>短期ビジョンの確実な実行</li> <li>医師会員との情報交換の充実を図る</li> <li>地域包括ケア病棟の在り方と PCFM の確立</li> <li>病院連携会議の継続など、連携強化を図る</li> <li>病棟活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る ・初期加算期間 14 日のアラートを先行し早めの退院・転棟方針の決定 ・毎週月曜にくにさき苑入所候補者の選別の協議を実施</li> <li>自宅等からの地域包括ケア病棟への受入を促進する</li> <li>近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保を行う</li> <li>患者確保と迅速な病棟・施設間連携を図る</li> <li>リハ目的の入院患者数の増加を図る ・紹介件数の多い県外の医療機関 2 病院の訪問を実施し PR を行った ・ニーズの掘り起こしのためボトックス後のリハ目的入院（包括ケア病棟）の検討開始</li> <li>地域包括ケア病棟の更なる活用、RE-Gait 入院の受入、PR を行う KPI:RE-Gait 目的入院数（月 2 件以上） →0 件 ・病院 HP での PR（年 3 回以上） →2 回実施 ・病院訪問での PR（年 3 病院以上） →2 病院訪問 ・市内通所サービス事業所訪問での PR（年度 3 回以上） →2 回</li> <li>医師会員、介護事業所との連携による在宅復帰等への機能強化を図る</li> <li>常に次期改定を視野に入れて、情報を蓄積し対応策を検討する</li> </ol>	
7-4 病院 特定病棟（回復期リハ・特殊疾患・医療療養病棟）の安定した運営	①効率的な特定病棟の運用	a.各特定病棟の在り方の明確化と運営方針	⇒	⇒	⇒	<ol style="list-style-type: none"> <li>短期ビジョンの確実な実行</li> <li>医師会員との情報交換の充実を図る</li> <li>患者・利用者の流れ（PCFM）の確立</li> <li>病院連携会議の継続など、連携の強化を図る</li> <li>病棟活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る</li> <li>患者確保と迅速な病棟・施設間連携を行う</li> </ol>		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
							7.介護事業所等との連携強化による在宅復帰の確保 8.常に次期改定を視野に入れて、情報を蓄積し対応策を検討する	
②回復リハ病棟の効率的な運用	a.回復期リハ病棟に関する情報収集と分析、目指す方向	⇒ ⇒ ⇒	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れの支援 2.周辺施設、特に日赤との連携を進める・実務者会議、地域連携担当者会議の実施 3.病床活用カンファレンスでの意見の集約・調整 4.くにさき苑への転院の早期の準備体制を構築する。（医療・介護連携委員会の活用） 5.益田日赤での出張転院相談継続実施（コロナ感染状況をみて実施せず）	1.回復期リハ病棟の在り方と PCFM の確立 2.治療成績（FIM）の向上検討・対策を行い、FIMの実績指数は基準の40%以上を維持できた。 3.回復期リハ病棟入院基本料の算定が3から1に復帰（R6.2～） 4.早期の受け入れ、1日2名の入院受け入れができるよう主治医との協議しながら改善を図っている 5.明確な病棟目標の明示と目標達成への取組を行う 6.4階病棟から回復期リハ病棟への流れの促進 7.回復期リハ病棟からくにさき苑（通所リハ・短期入所）への流れの促進 8.患者獲得への分析・検討を行う 9.地域住民や他の医療機関への啓発・営業活動について、紹介件数の多い県外の医療機関2病棟の訪問を実施。介護予防事業での住民への啓発活動2地区で実施した。営業活動は継続強化していく。 10.廃用症候群などの入院受け入れ体制の確立を行う 11.入院までの期間の短縮を図る 12.平均入院患者数増加のための検討・取組を行う ・リハ、病棟とで患者数増に向けた協議の機会を設ける（年間12回開催） ・対策チームをR5.11月に設立、継続中 ・益田赤十字病院へのリハ訪問向け協議中 ・当施設説明会の開催向け検討していく	
③特殊疾患病棟の効率的な運用	a.特殊疾患病棟に関する情報収集と分析と目指す方向性	⇒ ⇒ ⇒	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.対象外患者病室の有効利用を促す 2.他病棟からの転棟の増加を図った	1.特殊疾患病棟の在り方と PCFM の確立 2.入院対象者の確保と対象外のバランスを確保する 3.入院料、加算対象者の受け入れ強化を行う 4.医療・看護対応力の強化を行う 5.明確な病棟目標の明示と目標達成への取り組み 6.在宅での看取り希望に対する支援体制充実 7.障害病棟への転換を検討する	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
④医療療養病棟の効率的な運用	a.医療療養病棟に関する情報収集と分析と目指す方向性	⇒ ⇒ ⇒	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.他病棟からのスムーズな受入れの支援 2.介護施設への転院の働きかけ	1.医療療養病棟の在り方とPCFMの確立 2.療養病棟入院基本料1の維持 3.在宅復帰機能強化加算の取得 ・年間7名の一般・包括からの入院受け入れ、在宅退院（介護医療院可能） 4.出来高算定項目への対応を行う 5.医療・看護対応力の強化 6.明確な病棟目標の明示と目標達成への取り組み 7.入院透析の受け入れ 8.リハが必要な疾患が発症して30日以内の受入実施 9.施設・在宅からの軽度の増患の受入実施 10.医療療養病棟の在り方についての理解を深める 11.医療療養病棟の長期患者の介護医療院への移動により、介護医療院において加算を図る 12.在宅での看取り希望に対する支援体制の充実	
			⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病院協働でおこなった。	1.地域医療介護連携統括部と共働、医師会内の介護事業所との連携方法を構築する →くにさき苑への定例会議を毎週実施（入所候補、退院困難者の情報共有） 2.患者・利用者の流れ（PCFM）の確立 3.在宅患者の機能維持・介護維持への取り組み	
			⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病院と協働でおこなった。	1.地域医療介護連携統括部との連携・共働し増収対策について検討する →入院時支援加算の算定（1件のみ）	
⑦他組織（介護保険サービス）との連携強化による増収	a.退院後の調整強化	⇒ ⇒ ⇒	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病院と協働でおこなった。	1.会員と連携することで算定できる加算について検討する（在宅療養後方支援病院、退院時共同指導等） ・在宅療養後方支援病院の登録者数 53名 入院受入数 24件 （施設入所・死亡等により登録者数は減少、病棟受入体制が十分整わないため積極的な拡大は行っていない） 2.会員医療機関が、在宅療養支援診療所を取得できる支援体制の検討を行う	
			⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病院と協働でおこなった。	1.地域医療介護連携統括部との連携・共働し増収対策について検討する →入院時支援加算の算定（1件のみ）	
			⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病院と協働でおこなった。	1.会員と連携することで算定できる加算について検討する（在宅療養後方支援病院、退院時共同指導等） ・在宅療養後方支援病院の登録者数 53名 入院受入数 24件 （施設入所・死亡等により登録者数は減少、病棟受入体制が十分整わないため積極的な拡大は行っていない） 2.会員医療機関が、在宅療養支援診療所を取得できる支援体制の検討を行う	
7-5 病院 介護医療院の安定した運営	①効率的な介護医療院の運用	a.介護医療院の在り方の明確化と運営方針	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.他病棟からのスムーズな受入れの支援 2.介護施設への転院の働きかけ	1.介護医療院の在り方とPCFMの確立 2.介護医療院（＝在宅）への流れの構築を図る 3.介護医療院の機能・メリットを生かした運営を図る 4.LIFEへのさらなる対応 5.病床活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 6.介護医療院における短期入所の受入検討 7.医療療養病棟の長期患者の介護医療院への	
			⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.他病棟からのスムーズな受入れの支援 2.介護施設への転院の働きかけ	1.介護医療院の在り方とPCFMの確立 2.介護医療院（＝在宅）への流れの構築を図る 3.介護医療院の機能・メリットを生かした運営を図る 4.LIFEへのさらなる対応 5.病床活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 6.介護医療院における短期入所の受入検討 7.医療療養病棟の長期患者の介護医療院への	
			⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.他病棟からのスムーズな受入れの支援 2.介護施設への転院の働きかけ	1.介護医療院の在り方とPCFMの確立 2.介護医療院（＝在宅）への流れの構築を図る 3.介護医療院の機能・メリットを生かした運営を図る 4.LIFEへのさらなる対応 5.病床活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 6.介護医療院における短期入所の受入検討 7.医療療養病棟の長期患者の介護医療院への	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
						移動により、介護医療院において加算を図る 8.在宅復帰支援加算取得の検討 ・対象となる在宅等への退院：目標年間 4件としたが、算定実績はなかった 9.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保 10.セラピストの介入、排泄ケア加算等の検討 KPI i：理学療法単位数月平均 50 単位以上 → 月平均 116.7 単位 KPI ii：作業療法単位数月平均 10 単位以上 → 月平均 38.9 単位 KPI iii：短期集中リハ加算月平均 1 件以上 → 月平均 42.9 件 11.特養等介護施設申し込み状況の定期的な確認の検討		
7-6 介護老人保健施設の安定した経営	①入所系サービスの安定経営	a.利用者の安定的確保と増収	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.くにさき苑と協働で行った。 ①医療介護連携会議にて医療センター内の調整をおこなった。 ②担当師長との直接調整も実施	1.地域連携室・医療相談室との連携を強化し利用対象者の選定や調整を行った。 2.利用者確保と医療機関からの流れを促進するために、医師会病院への病棟訪問および定期的な益田赤十字病院への病棟訪問を開始（10月）し、益田赤十字病院から19人の入所者を獲得した。 3.目標数値を意識したベッドコントロールを継続し、1日平均入所者数は前年度比3.9人増の93.1人となった。 4.多様化する利用者ニーズに対応するために、ケースを通して相談技術・調整能力の向上を図った（支援相談員部会研修（9/8）、主任ケアマネ更新研修（6～8月）受講）。 5.在宅復帰率・入所前後訪問指導割合・退所前後訪問指導割合をコントロールし、超強化型を維持した。 6.通所に係る相談員業務（新規相談、加算確認等）を整理し、業務の効率化を図った。 7.認知症短期集中リハビリ加算の算定開始（8月）、（306件算定（734,400円増収））。 8.科学的介護推進加算Ⅱの算定開始（9月：対加算Ⅰ比137,000円増収）。 9.経口維持加算算定再開（8月）（108,000円増収）。 10.ターミナルケア加算算定開始（9月）（5名：336,800円増収）。 11.一日の入所受入れ人数を増やすために、入所受け業務の見直しを開始した。 12.かかりつけ医連携薬剤調整加算の算定開始（7月）（238,200円増収）。 13.自立支援促進加算算定開始（9月：2,004,000円増収）。	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
		b.短期入所サービスの適切な運用	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.くにさき苑と協働でおこなった。		14.管理職会議および判定会議をペーパーレス化し、業務の効率化・費用削減を図った。
	②通所リハビリテーションの安定経営	a.利用率の向上と増収	⇒	⇒	⇒			1.認知症短期集中リハビリ加算の算定開始（8月）（84,000円増収） 2.通所型Cの開始について検討した。 3.利用者獲得のため、リーフレットを作成し、益田赤十字病院及び施設見学者に配布した。 4.医師会病院退院後の利用を促進するために、通所リハビリテーションに関する勉強会を地域包括ケア病棟職員対象に11月、医療センターセラピスト対象に12月、開催した。（通りハ） 5.通りハ利用者の獲得のため、居宅介護支援事業所3カ所、包括支援センター3カ所の訪問を行った。（通りハ） 6.居宅介護支援事業所との連携強化のため、情報提供に努めた。（通りハ） 7.「まるみエール」を活用しケアマネとの意見交換を行った。 8.ケアマネと必要な加算を検討し、利用早期から適切な加算を算定した。（通りハ） ・リハビリテーションマネジメント加算A・B合計280件（前年度比142件増）。 ・生活行為向上リハ加算：29件（前年度比5件増）。
7-7 居宅介護支援事業所の安定した経営	①効率的な経営基盤の確立	a.利用者の安定的確保	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.居宅の運営支援をおこなった。		1.常勤ケアマネ2名退職により新規受け入れは困難であった。
		b.業務の効率化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.居宅の運営支援をおこなった。		1.業務の効率を上げるために、パソコン内の書類の整理を行った。
7-8 訪問看護ステーション等の安定した経営	①効率的な経営基盤の確立	a.病院、施設との連携強化	⇒	⇒	⇒			1.サービス開始後の利用者の状況を紹介元の医療機関や施設に情報提供した。
		b.独自のサービスの立案・推進	×	⇒	⇒			
		c.収益の確保	⇒	⇒				1.24時間対応の再開について検討し、R6.4月再開を決定した。 2.4名に対して夜間休日の看取り対応を実施した。

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
7-9 ホームヘルプ事業所の安定した経営	①休止の解除	a.人員の確保	⇒	⇒	⇒			1.事業再開に必要な体制が整備できず、総合事業（介護予防）については、R6.3.31をもって「廃止」とした。
7-10 訪問リハビリテーションの安定した経営	②訪問リハビリテーションの利用者確保	a.効率的な運営のための具体策立案	⇒	⇒	⇒		1.くにさき苑入所利用者への広報活動を実施 2.医療センター内での潜在利用者の掘り起しを行う ・院内リハスタッフ、病棟への介入としてリハスタッフとの症例検討・説明の機会を14回実施	1.安定的に対象者を確保するためにグループ会議等で定期的に対象者の選定を行った。
		b.地域のニーズに対応するための具体策立案	⇒	⇒	⇒		1.利用者の需要調査を継続実施する 2.圏域内の他事業所の事業を把握する ・圏域内他事業所との関係づくり→2施設との連絡体制確立 ・事業の情報交換を図る→1回実施 3.リハ診察困難者への対応を検討する ・他圏域の対応について情報収集する ・訪問リハグループ会議内で協議、継続審議中	1.判定会で対象者を検討し、利用者の確保に努めた。
	③収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.診療報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討を行う ・改定の動向を確認。年度12回以上確認に研修会に2回以上参加を行う→動向の確認12回、研修会2回参加 ・会議内で研究・方法の検討 2.実施件数や実施期間などの分析と検討体制の確立を図る ・体制確立・構築に向け役職者間で協議 3.訪問リハの手引きの修正体制の確立を図る ・体制確立・構築に向け役職者間で協議 4.センター内および他機関（開業医、他の医療機関、居宅介護支援事業所、行政など）への定期的な啓発活動を行う	1.リハビリテーションマネジメント加算B（ロ）の算定体制を維持した（10件：48,300円）。 2.移行支援加算算定体制を維持した（34件：5,780円）。
7-11 地域包括支援センターの安定経営	①事業実施に必要な受託費用の確保	a.益田市との予算協議の継続	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.適正な予算確保に向けた益田市と協議を継続している		
	②東部地域包括支援事業の安定運営	a.益田市との連携を図りながら適切に運営する	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市との協力体制の強化 ①感染症等での人員体制不足時 8月、コロナ感染や所用休暇で総合相談担当職員の不在日が発生。益田市推進係へ協力要請し、了解いただけた。 ②配置のない専門職の分野 推進係の社会福祉士へケース相談も、協力得られず 2.連絡会議（市と包括での定期開催） （5月、9月、2月3回開催）		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
③東部指定介護予防支援事業の安定運営		b.地域組織・関係機関との更なる連携の推進	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.地域や関係機関へ体制の周知とネットワーク構築継続実施→次年度の圏域地域ケア会議の体系を決定した（一部を社協の第二層協議体と合同開催） 2.地域ケア会議の開催（7回開催）		
		c.地域住民への周知	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市と協力し、体制の周知を図る ・市窓口に来庁された方を担当包括に繋ぐ流れの改善を図りつつある 2.地域に出向き、住民へ相談窓口や介護予防の啓発活動実施（北仙道：お話し会 安田：津田健康体操教室 鎌手：高齢者サロン 種：高齢者サロン）		
		a.安定運営	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市のマニュアルに沿って、適切な介護予防支援・介護予防マネジメント支援を行う ・マニュアルのない部分について指導係に相談し整理した。 2.確実な保険請求体制の構築 ・継続実施		
		b.ケアプラン作成の効率化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市の提示するマニュアルに即したケアプラン作成の標準化を継続実施（特に事業対象者） 2.全体最適を視野とした業務効率化と実績件数の増加 ・職員が新人と兼務者のため、考慮しながら件数を増やした。R5年3月：49件 → R6年3月：66件		
		c.関係機関との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.委託事業所、サービス事業所等関係機関との情報交流や連絡連携体制の維持 ①東部圏域の4居宅を8～9月に訪問し、総合事業住民型活用の啓発を実施 ②圏域地域ケア会議で社協、居宅、自治組織、民間（タクシー）の協力を得て、11月に開催		
④中部地域包括支援事業の安定運営	a.益田市との連携を図りながら適切に運営する	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市との協力体制の強化 ①感染症等での人員体制不足時 ②配置のない専門職の分野 人員不足による体制に関しては、いくつかの対応策を打診、鋭意協議している。緊急避難的対応として兼務での対応を検討 2.連絡会議（市と包括での定期開催） ①5・9・2月 3回開催、7月益田保健所医事・難病支援課同伴にて訪問あり 3.センターの好立地を活かし益田市各課との連携をより強化する ①ひとまる会議・コア会議など開催し複合的・重			

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
						層的・多様性のある問題の解決を試みるが、各課の壁があり有機的な機能とはなっていない		
		b.地域・関係機関との連携構築	⇒	⇒	⇒	<b>【統括部】</b> 1.地域や関係機関へ体制の周知とネットワーク構築 ①地域ケア会議の開催 昨年度0件であったが、7・11・4月地域ケア会議（真砂）開催。4圏域にまたがる共通の課題の抽出・共有は現時点では困難。 まずは、圏域毎の地域ケア会議を自論む。 2.関係機関、地域組織等への訪問実施（健康増進課と連携）百歳体操、軽スポーツ教室、健康教室などへの参加		
		c.地域住民への周知	⇒	⇒	⇒	<b>【統括部】</b> 1.益田市と協力し、体制の周知を図る ・相談の窓口設置やそこでの対応についての共通認識を持つべく協議を重ねている ・再委託困難・困難ケース対応時など協力要請を必要時行い逐次現状認識をしていただくよう努めている 2.地域に出向き、住民へ相談窓口や介護予防の啓発活動実施 ・周知広報活動：チラシ配布・陳列、公民館訪問、おしゃべりカフェ、認知症カフェ、地域行事・イベントへの参加、益田市保健センターの健康教室、益田市社会福祉協議会の講座・サロンなど参加し告知や相談など受けようとしている ・キャラバンメイトへの参加 ・当センターにおいて、1/M みんなの保健室開催		
⑤中部指定介護予防支援事業の安定運営		a.安定運営	⇒	⇒	⇒	<b>【統括部】</b> 1.市のマニュアルに沿って、適切な介護予防支援・介護予防マネジメント支援を行う 2.確実な保険請求体制の構築 ・人員不足にて、タイムリーな対応質・量の確保に難渋している。		
		b.ケアプラン作成の効率化	⇒	⇒	⇒	<b>【統括部】</b> 1.市の提示するマニュアルに即したケアプラン作成の標準化 ・ケアプランデータ連携システム導入を検討中 2.全体最適を視野とした業務効率化と適切な実績件数の増加 ・入退職が続き、業務やケースの引継ぎや対処に難渋している。市と情報共有しながら適切な業務遂行ができるよう鋭意努力している		
		c.関係機関との連携強化	⇒	⇒	⇒	<b>【統括部】</b> 1.委託事業所、サービス事業所等関係機関との情報交流や連絡連携体制の継続		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	事業報告	事業報告	事業報告
						・複合的・重層的・多様性のある問題を抱える世帯に対して支援を分野横断的に多機関で連携や支援を理解、促進するべく努力をしている ・各居宅介護支援事業所の状況把握に努めている		
7-12 へき地医療施設の安定経営	① 益田市国民健康保険医療施設の安定経営	a.へき地医療事業部の設置（美都診療所事業部からの変更）	⇒			【へき地医療事業部】 1.新たな事業部の運営方針決定とチェック体制の確立 2.新たな事業部への人員の確保 3.匹見道川・澄川診療所の指定管理としての受入準備		
		b.美都診療所の継続的な運営を行う。	⇒	⇒	⇒	【へき地医療事業部】 1.地域ニーズに基づく安定した経営を行う ①美都診療所との情報共有や問題解決のための美都診療所管理会の新設（9回開催） ②平成17年開設以来の書類の整理・破棄した（10月25日） 2.指定管理者として益田市と共同で運営を行う。・指定管理更新（令和8年度） 3.職員の確保		
		c.匹見道川診療所の継続的な運営を行う。		⇒	⇒	【へき地医療事業部】 ①益田市と中村医院との道川診療所の運営に関しての協議を行った。（7月21日） ②益田市より依頼のあった匹見道川・澄川診療所の指定管理の申請を行った（9月29日） ③益田市とのへき地医療に関する意見交換会の開催（9月8日） ④益田市より匹見道川・澄川診療所の指定管理者の指定があった。（令和6年度～令和8年度）（12月18日） ⑤1月より診療所運営のための準備を開始		
		d.匹見澄川診療所の継続的な運営を行う。		⇒	⇒	【へき地医療事業部】 ① 匹見澄川診療所と同じ		
<b>8 人材の確保・育成と働きやすい職場づくり</b>			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
8-1 計画的な人材の確保と育成	① 医師会職員への教育体制の充実	a.研修体制の整備と研修機能の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.全体の教育体制を検証しキャリアプラン形成への制度化及び支援 【統括部】 ①社会福祉士育成のための指導者研修体制の整備 ②職員のスキルアップ研修会参加への支援	1.全体の教育体制を検証しキャリアプラン形成への制度化及び支援を行う 2.キャリア支援センターを設置した（R6.4～）	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
		b.新専門医制度への対応	⇒	⇒	⇒		1.制度・先進事例等の調査を行う 2.新専門医制度への対応の検討を行う 3.専門医育成計画の策定	
		c.研修医受け入れ体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.各種学会の指定施設となるために各基幹大学や病院との連携に努める 2.臨床研修・専門研修の指導者を確保するため、総合診療特任指導医講習2名、臨床研修指導者講習2名の受講修了（岡崎医師・松本医師）	
		d.認定看護師、特定行為のできる看護師等の資格取得の促進	⇒	⇒	⇒		1.摂食嚥下1名、感染管理1名の認定看護師受講修了	
		e.管理職、管理職候補者研修の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.各職種にあった管理職研修への参加を促進する 2.管理職の教育制度を構築する 3.計画的な研修制度を整備し、定期的な研修を実施する	1.各職種にあった管理職研修への参加を促進 2.職能団体が実施する研修に参加 3.認定看護管理者ファーストレベル看護師長2名受講修了 4.社会医療法人愛仁会での管理職2名（事務・リハ職）の長期研修を実施 5.厚生労働省医政局へのR6.4～1年3ヵ月間（リハ職1名）の長期派遣を実施	
		f.キャリア形成の支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.自己啓発に取り組む環境の醸成のため、経費補助や休暇制度等の導入を検討する 准看護師看護師資格を取得するための支援制度を開始した。 2.機能強化・安定運営等に必要な研修受講・資格取得の推進	1.各職種のステージにあった研修への参加を促進 2.職能団体が実施する研修に参加	
		g.職員教育体制の構築	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.職業人として必要な諸制度（労働基準法、労働安全衛生法、人権、ハラスメント他）についての教育方法について検討し制度化する 2.職種別の教育方法について検討し制度化する	1.教育体制の一本化のため、R6.4よりキャリア支援センターを設置した	
		②医師の求人活動	a.医師確保対策に努める	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.病院事業部と連携し確保に努める	1.勤務病院選定理由等調査・分析を行う 2.医師確保条件整備の検討を行う 3.島根県（医師確保対策室）への働きかけと連携強化を行う 4.島根大学等の各医局と連携を密に図り、医師派遣の働きかけを強化した（婦人科医急病・退職に伴う代診派遣も確保できた） 5.卒後教育・研修プログラムの検討を行う 6.学会認定施設の取得を目指す 7.医師の働き方改革への対応（R6.4月から） 9.繋がり継続
	b.医師招聘につながる処遇の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師の働き方改革への対応 ・チーム医療の推進（ワンチーム（多職種連携）での取り組み強化）	1.他病院等の状況について調査・分析を行う 2.就職希望医師の雇用形態別処遇の検討を行う 3.当院にあった雇用形態のあり方を検討する 4.医師の働き方改革への対応（R6.4月から）		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
						・タスクシフト・タスクシェアの検討・推進 2.給与制度改革で調整した新医師給与・諸条件を提示する		
		c.親父の背中プログラムの継続	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.合同会社ゲネプロとの連携維持 2.プログラムの継続とブラッシュアップ 3.合同会社ゲネプロとの契約内容について検討	1.ゲネプロと連携を継続し、1名のプログラムが完了した。次年度の採用について見学等の受入れも行ったが採用には至らなかった 2.親父の背中プログラムの継続とブラッシュアップ 3.当院が求める医師像の明確にして説明することで、ミスマッチ防止につながっている	
③職員の安定確保		a.採用困難職種の採用促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.採用促進のための新たな制度を実施した。 入職時移転費用支援充実、入職のキャリア支援 2.人材紹介会社を活用した即戦力確保を行う 3.既退職者等へのリクルート体制を整備しコンタクトを図る 【統括部】 ①社会福祉士の採用ための大学訪問予定。	1.不足する専門職の欠員を補うため、業務内容を整理し、補助員の雇用等を含めた定員の見直しを行う 2.潜在資格の掘り起し及びその職場を志向する職員の調査を行う 3.上記定員の見直しを基に、将来を見据えた5年程度の採用計画を立てる（機能再編・人口構造・職員の年齢構成等） 4.再就職チャレンジ講習会の検討・実施	
		b.採用活動の徹底	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.WEB、SNS、パンフレット等を活用した情報発信を適宜実施 2.学校訪問、就職セミナーへの参加、ハローワーク等就職斡旋団体等を利用した採用活動を積極的に実施した。 3.中高での企業参加イベント等に参加し、医療に目を向ける学生を増やす取り組みを継続する	1.中高生への働きかけ強化し、医療に興味を持つように、学生への早期に関係づくりを行っていく 2.実習生の受け入れ促進を図る	
		c.給与制度の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事給与制度改革により新たに設定した給与体系のほか、就職し易くかつ就職したくなる各種支援策の新設を行なった。 2.人事給与制度の改定の検証とより効果のある制度へのブラッシュアップを適時実施している。 一部、国の報酬制度改定等に合わせ処遇改善を実施した。 今後の検討課題の主なもの ①物価上昇へ対応した給与体系 ②他の病院と競争力のある実績給の在り方 ③定年年齢の引き上げ など 3.応募動向の変化を分析する		
		d.採用方法の検証と改善	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.求める人材像の明確化するため、採用基準・方法等を再検証して、必要な人材の確保に努める 2.島根県立大学の推薦枠を設定した。 3.R6年度採用から土日を利用し、応募しやすい環境とした。		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
		e.多様な雇用の推進・検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.新たな高齢者継続雇用（再雇用制度）を実施調整する 2.高齢者継続雇用、障害者雇用、多様な働き方の受け皿として、業務支援課設置を目指し準備室を設置し体制検討を開始する →雇用の在り方、組織は再検討する 3.介護技能実習生受入れがもたらす効果の分析を行う	1.高齢者雇用、障害者雇用の推進 2.介護技能実習生の受入れ	
		f.研修生、実習生の受入れの整備	⇒	⇒	⇒		1.積極的な受け入れを行う 2.島根県立大学との包括協定を締結。高大社接続事業イベントや有償型インターンシップを開始 3.事業本部、くにさき苑との協働により、技能実習生の受入準備を実施。更なる技能実習生拡大のため仁愛国際(株)の視察等の情報収集を実施	1.介護福祉士2名が訪越し、ホアンロンでの授業のサポートを行った（2月）。
		g.医学生・看護学生への就学支援	⇒	⇒	⇒		1.積極的な支援体制を行う 2.島根県立大学との協働を推進する	
8-2 働きやすい職場 環境づくり	①常勤医師の負担軽減	a.常勤医のニーズの把握し問題点の把握や課題を洗い出す	⇒	⇒	⇒		1.医師の働き方改革への対応（R6.4月から） 2.常勤医師ニーズ等調査を検討 3.医師同士が支え合う医局の構築 4.医局会・モーニングカンファレンス等の参加徹底	
		b.課題への対応策検討、実施する	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.勤務医・看護職員負担軽減策定委員会の活性化を図る 2.人事給与制度改革により、新しい医師給与体系による働き甲斐のある勤務条件を整えることで定着化を目指す	1.勤務医・看護職員負担軽減策定委員会の活性化を図る	
		c.常勤医の休日・夜間の支援体制の整備	⇒	⇒	⇒		1.休日・夜間の支援体制を充実させるため、大学等への協力要請を行い、延99回の日当直派遣があった	
		d.タスクシフト・タスクシェアの推進	⇒	⇒	⇒		1.ワンチーム（多職種連携）での取り組み強化 2.多職種の病棟配置・運営を実施	
	②職員が安心・安全・健全に働ける健康経営の推進	a.ハラスメント対策・体制の整備	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.ハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）防止の組織的な推進 2.ハラスメント行為に対する処分方針を明確にする 3.広く職員の声を拾い上げる仕組み（意見聴取方法や体制）について検討を行う		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
		b.職員の健康保持・増進活動の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.健康経営宣言に基づき、職員の健康管理活動（健診結果のフォローや禁煙サポート等）や余暇時間を利用した健康づくり活動（リハ機器の時間外利用・運動教室等）を推進する 2.心の健康づくり活動（ストレスチェック、カウンセリング、職場復帰プログラム等）を推進する		
		c.福利厚生活動の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.福利厚生制度の検証と見直しについて検討する 2.福利厚生活動について職員への周知を図る		
		d.安心・安全・健全職場環境づくりの推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.衛生委員会等の活動を通じて、継続して職場環境の保持・改善を目指す 2.双葉会事業等を通じ部署内外の人間関係構築を支援する 3.職員への情報発信に努める 4.医療センター内でのIT化による職員の業務負担を軽減する（1-1-③-cと同じ）	1.腰痛予防のための、介護ロボット導入等の検討を行う	
	③女性が活躍できる職場環境づくりの推進	a.仕事と育児・介護の両立を支援する環境の整備	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.育児・介護関連休暇制度が取りやすい仕組みと環境づくりを行う	1.全病棟2交代統一を目指し、12時間夜勤制度を検討。R6.2より一部病棟で試行的に実施。R6.5～全病棟で実施となる	
		b.職員保育所の安定運営	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.時間外利用等の改善を図り、利用しやすい保育所を目指す 利用者や子育て世代のヒアリングを実施予定 2.感染対策を強化し職員の意識を高め安心・安全な保育を実施する		
		c.ワークライフバランスの推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.時間外・休日労働の削減、有給休暇の取得促進（計画付与）などの徹底を図る		
	④多様な働き方に対応できる雇用制度の検討・整備	a.限定正職員（夜勤のできない看護職）、短時間正職員（フルタイムで働けない職員）等の雇用制度を検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事給与制度改革に基づき、働き続けられる制度の整備について検討する 2.新たな雇用制度の検証を行う		
		b.定年退職の延長、再雇用制度の見直し検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.定年時期の延長について検討する 2.新たに導入したコース別の新再雇用制度の検証を行う		
8-3 労働意欲の向上 につながる人	①人事・給与制度の全般的見直し	a.新人事給与制度の全体的な分析・検証・見直しを実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事給与制度の改定の検証とより効果のある制度へのブラッシュアップを行う		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
事. 給与制度の検討	②人事異動方針に基づく適正な人事異動の実施と評価	a.人事異動方針に基づく人事異動の適宜実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事調整会議の活用 2.副主任制度の活用 3.役割等級制度の活用 4.新人事給与制度に伴う人事異動の実施		
	③人事考課制度の見直し	a.新人事考課制度の検証・見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.新人事考課制度の改定の検証とより効果のある制度へのブラッシュアップを行う 2.管理職者の評価指標（成果連動等）の浸透 3.公正な評価のための考課者教育の実施		
8-4 島根県立石見高等看護学院の管理・運営	①島根県との緊密な連携	a.適切な情報交換と意見交換の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.島根県の所管課（医療政策課）と運営方針、事業計画、課題等についての意見交換を8月（石見高看：職員との意見交換）と、9月（県庁：予算要求協議）で実施した。 11月に、島根県による看護師等養成所指導調査が実施され、看護基礎教育に係る法令を遵守し、適切な学院運営がなされていると評価された 2.島根県と連携して、県内看護学校の学生と県内医療機関との意見交換の場（リモート）を提供し、看護師確保対策に向けた取り組みを実施した 3.上記1の機会を活用し、副学院長、看護教員等の任用のあり方について、県と課題を共有し、今後の任用について方針を確認した 4.文科省「新たな学習支援制度」に継続して申請し、承認・認定された。学生の経済的支援について県と緊密な連携を図る		
	②魅力ある教育カリキュラムの構築	a.新教育カリキュラムの実践	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.新カリキュラムについて、学生にわかりやすいシラバスを作成し、教育を実践している 2.地域と連携した魅力ある看護基礎教育活動について、魅力ある教育プログラムとなるよう、継続的に協議、調整を行い、改善を行っている 3.新たな実習施設等と具体的な実習計画の調整を行い、1月から新カリキュラムでの臨地実習を実践している 4.カリキュラム改正による予算・経費を確保し、新カリキュラムへの円滑な移行に取り組むため必要な令和6年度予算要求を行った（R6完成）		
	③入学定員の確保	a.看護師国家試験高合格率の維持	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.年度当初に学院目標、教務部目標を設定し、目標達成に向けた学生教育計画を立案し、指導を実施している		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
						2. 看護師国家試験に向け、計画的に模擬試験等の試験対策を順次実施して、令和5年度卒業生も100%合格を果たした		
		b.広報活動の展開	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.教職員、学生のブログを計画的に更新し、情報発信に取り組んでいる 2.地元益田市と協力して、12月に看護学生と地域の子どものふれあい交流事業を実施した ・訪問した小学校5校 （真砂・匹見・鎌手・東仙道・中西） 3.益田市・益田市教委員会と共催し、「小学生のための看護体験」を3月に開催した 4.学院の広報の一環として、高等学校等からの学校見学・研修希望には可能な限り対応している。益田東高校、益田翔陽高校の生徒の受け入れを行った。また、美都中学校での教員による職業案内も実施した 5.学院の各種行事について、マスコミに情報提供し、広報活動を行っている		
		c.学生募集活動の促進	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.夏季休業の期間等を活用し、オープンキャンパス（7/23）、学院見学会(8/11)を実施し、県内の多くの高校生が参加した 2.業者等が実施するガイダンスに積極的に参加し、進学相談等に対応した 3.県内の高校を訪問（7月/21校）し、進路指導担当教員への状況提供を行った 4.市町村（公立病院含む）との連携を密にし、地域推薦受験生の確保に努めるため、夏休みを利用し、地域推薦入学生と市町長、医療関係者との意見交換を実施した		
		d.更なる魅力アップの検討・実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.年度末に各種評価・アンケートを実施し、本学院の看護教育の検証を自ら実施した 2.継続して協同学習ならびにシミュレーション教育の発展に取り組んでいる 3.魅力ある入学試験のあり方について、運営委員会でも意見交換を行った。今後、島根県とも継続的に意見交換を行っていく		
		e.4年制大学（養成所の4年制化を含む）の調査・検討	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.情報の収集を行うこととしている 2.島根県立大学との連携を図る 3.要望活動等の対応を行うこととしているが、特に特筆すべき具体的な動きはなかった。		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
④必要な看護教員・講師の確保	a. 関係機関との連携協働による看護教員の育成・確保		⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. 益田地域医療センター医師会病院と連携・協働し、看護教員の臨地研修を行い教育力の醸成を図っているが、今年度は予定した教員の体調不良等を考慮し、延期とした。 2. 看護教員確保に向け、県立中央病院・益田赤十字病院・松ヶ丘病院との人事交流などの検討を行っている。特に、精神看護学を担当領域とする教員が定年退職の時期をむかえており、松ヶ丘病院に教員派遣についての協力を打診している 3. 看護教員適任者の計画的育成について、検討を行っているが、現状では退職者の補充ができておらず1名欠員のまま令和6年度をむかえた。新規採用募集を行う方向としているが、希望者がいない状況である 4. 看護教員資格取得への支援のための予算を確保しているが、現状、該当者がいない		
		b. 講師の負担軽減策の検討と実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. 必要に応じて、講師確保のため県及び関係機関等との意見交換を行っている。現状では必要な講師が確保できている。しかし、現場多忙等の理由で、年度更新を断られることもあり、常に講師の確保の必要に迫られる状況である 2. 講師要望等を把握し、調整・再編を行うため、講師の希望を確認している 3. 円滑な遠隔授業実施のため、安定した通信環境・実施体制を継続して確保している		
	⑤看護教員の教授力の向上	a. 研修機会の増と、効果的な研修の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. 8月、9月に実施された、島根県教員継続研修には全教員の参加を原則とした。（体調不良の教員1名が欠席したのみ） 2. 教員指導力向上対策（研修会等）を開催し、愛媛大学・内藤知佐子先生の研修を教員、実習指導者共に受講した 3. 各種教員研修への参加支援のための予算を確保し、自己研鑽のための研修参加を奨励し受講した		
		b. 臨床現場研修の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. 専任教員の臨床現場での指導力向上のため、長期臨床研修を計画的に実施することとしているが、今年度は予定していた教員の体調不良のため延期した。短期研修は、2名の教員が新カリキュラムにおける新規実習部署での研修を実施した		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	計画年度			事業本部・その他 事業報告	病院事業部 事業報告	くにさき苑事業部 事業報告
			05	06	07			
		c.自己研鑽への支援とモチベーションの向上推進	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.キャリア別達成目標を運用・実施している 2.自己研鑽支援休暇制度を設け、活用を促進している		
		d.学会等への積極的参加	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学会活動の支援を行っている 2.教員の教育研究の取り組みを促進している		
	⑥学院環境の整備	a.学び舎として快適環境の整備	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学生の美化意識の高揚及び美化活動の推進を行っている 2.植栽等の適正管理を継続し、施設環境を維持するための予算を確保し、学内快適環境を維持している 3.危機管理マニュアルに沿った必要な設備整備、運用を行うこととしており、今年度は臨地実習中の事故について新カリキュラムの実習展開に合わせ変更した 4.継続的な新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を継続実施している		
		b.常時点検による適切な整備の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.施設・備品設備のチェックを行い、令和6年度に必要と見込む予算を要求した 2.備品（教育備品を含む）の計画的更新計画の策定し、予算確保を要求した		
	⑦地域への貢献	a.卒業生の県内就業率の向上	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.県内病院と学生の交流事業を実施し、学生の県内就職支援を行っている。8月末をもって、就職希望者の9割以上が決定した 2.卒業生のホームカミングイベント事業を実施し、卒業・就職後の状況を把握し、離職防止に取り組んだ。今年度は益田地域医療センター医師会病院に就業した看護師の参加がなく次年度以降の参加について病院側との調整を行う 3.市町村（公立病院含む）との連携を密にし、地域推薦受験生の確保に努めるため、夏休みを利用し、地域推薦入学生と市町長、医療関係者との意見交換を実施した (②C4再掲)		
		b.地域貢献策の検討・実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.コロナによるボランティア参加要請がなくなっていたが、学生のボランティア活動への参加依頼も増えてきており、学生も積極的に参加した。 8回のボランティア機会があり62名が参加した 2.学院イベントへの住民参加を促進する予定としていたが、依然としてコロナ感染者が多いことから、病院実習への影響を考慮し、住民参加を取りやめた 3.地域の看護師との合同研修会の企画・運営を		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画（事業報告）

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	事業報告	事業報告	事業報告
						行った（⑤a参照） 4. 体育館等、学院施設の地域への貸出を行うこととしており、今年度は益田高校の体育館の改修で使用ができなくなった益田高校部活動を7月～9月の間、必要な時期に貸出を行った。その他、地元保育園の運動会開催のため貸出を行っている 5. 「地域在宅・看護論」では、地域の人々との関わりを促進する「地域を知る実習」を実施している		
9 計画に基づく必要な施設等の整備充実			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
9-1 医療センターの新たな施設整備	① 医師会施設の計画的整備	a. 施設・設備の修繕・整備等計画書作成と実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 単年度予算計上のための建築設備工事計画の作成と実施	1. 定期的な修繕・設備更新の実施 2. 医療・介護 DX 推進としてチームを立ち上げ情報収集・検討を実施。電子カルテ更新を始めとした計画を立案した。R6 年度整備に向けた準備と、次年度以降の更なる DX 推進に向けた検討を継続する	
		b. 施設管理システムや体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 施設管理に関わる体制や手順等の見直しの検討 2. 空調システム運用の PDCA 管理の実施		
	② 省エネ、CO2 削減対策	a. 省エネ新技術の導入促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 補助金活用に向けた情報収集の実施		
	③ 環境の美化	a. 総合的な環境美化対策の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 総合的な環境美化への継続的な取り組み 2. 委託業者との契約の見直し（2 年度と同内容で再契約） 3. OB 会と連携し継続的に活動する		
9-2 施設設備の老朽化への対応	① 昭和 61 年建設病院本館棟の建て替え準備	a. 本館棟建替資金の計画的積み立て	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 公益法人法に則り余剰資金の確保や資金の計画的な積み立てを行う <u>1. ビジョン委員会、プロジェクトチームを立ち上げ、基本構想・ビジョンの策定を進めている。</u>	1. <u>ビジョン委員会、プロジェクトチームを立ち上げ、山陰合同銀行・日本経営のコンサルティングをうけながら建て替えに向けた検討と基本構想・ビジョンの策定を進めている</u>	
	② 介護施設整備を実行	a. 益田市事業の検討と要望	⇒	⇒	⇒			1. 次年度要望項目を決定。10/12 運営協議会にて提出した。